

緑の風 NEWS

JR東労組



JR東労組ホームページ

East Japan Railway Workers' Union 2026年 3月 3日 No.74

3月3日 JR東労組結成の日

JR東労組は1987年3月3日に誕生し、結成39年を迎えました。私たちは国鉄改革の理念である「雇用の確保」「鉄道の復権」「新たな労使関係の構築」を実現するため、組合員とともに団結を強化し、たたかってきました。

結成から1年後の1988年12月5日に、東中野駅列車追突事故が発生し、この事故が「責任追及から原因究明へ」の安全哲学確立のきっかけとなりました。

その翌年の政策フォーラムでは、安全シンポジウムと位置付けて開催し、「安全なしに労働なし」ということをハッキリさせて職場から安全議論をつくり出す決意を固めました。



最近では、首都圏において大規模輸送障害が連続発生し、国から2度の警告文書が出される異常事態となっています。JR東労組は、「グループ安全計画2028」発表以降も重大事故が発生していることから、JR東日本グループの安全が危機的状況であると警鐘を鳴らし続けてきました。

そして、職場では発生した事象等の原因究明委員会を開催して、当事者にも参加してもらいながら背後要因の掘り起こし、二度と同じ事故を繰り返さないための議論と対策をつくり出しています。「責任追及から原因究明へ」の安全文化再確立のたたかいは、JR東労組にしかできません。「命」を最大の価値基軸にして、安全文化再確立のたたかいに挑み続けます！

JR東労組は、JR東日本グループをより良い会社にしていくために、あらゆるハラスメントを許さず、安全で安心して働ける職場環境に実現のために組合員の声を基にたたかっていきます。そのために組織を強化・拡大し、「抵抗とヒューマニズム」を基底に仲間寄り、支え合いながらたたかえる組織をめざしましょう！

組合員と家族の幸せのために、職場からのたたかいで未来を切り拓こう！